

J A 自己改革推進レポートについて

令和 6 年 5 月 2 7 日
J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取中央の取り組み

①以西地区振興協議会へ農畜産物引換券贈呈

J A 鳥取中央は、文化的・社会的貢献に関する取り組みとして、関係団体と連携し、管内組織へ地元の特産物や農畜産物引換券などを贈呈し、運営を支援している。

3 月 1 2 日、新規支援先として琴浦町の以西地区振興協議会へ同 J A 直売所で使用できる農畜産物引換券を贈呈した。

同協議会は、令和 5 年から地域の交流の場づくりを目的に、地元で採れた食材を使った「おこわ」や「カレーライス」を軽トラ市などのイベントで提供している。

令和 6 年度は、旧以西小学校で開かれる「いさい ふれあい食堂」の開催を 3 回予定しており、同 J A は引き続きこれを支援し、地域貢献活動及び食農教育を推進する。

引換券を受け取った同協議会の那須典久会長は「地域の人々との交流の場として多くの人たちに知ってもらい、利用してほしい」と話した。



②大栄西瓜定植産地体験会を開催

J A 鳥取中央大栄西瓜組合協議会は 3 月 1 7 日、北栄町で、行政などと連携し「定植産地体験会」を開催した。県内外から同町にスイカでの就農や定住を検討する 9 人が参加。同会指導部長の中原篤さんのほ場で「大栄西瓜」の定植作業を体験した。

その他にも就農に向けた研修、支援制度の説明や昼食会での情報交換などで交流を深め、就農に向けてイメージを膨らませた。参加者は「丁寧に教わったおかげで楽しく作業ができた。収穫を楽しみに待ちたい」と話した。

次回は、収穫・出荷体験を 7 月上旬に開催する予定。



以上